

令和7年度（2025）公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市黒埼地区総合体育館（有料） ※プール無し		
管理者名	公益財団法人新潟市開発公社	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区金巻746番地1		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 12,600㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設内容（構成施設の内容） アリーナ 1,222㎡ トレーニング室 84㎡ 剣道場 278㎡ 柔道場 199㎡		

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	基準利用者数の達成	・個人利用者数 30,020人(但し、大会等利用による利用制限等を考慮し評価する)	個人利用者数 31,914人(R6年度30,024人、前年度比106.3%)	B	
	基準利用率の達成	・利用率平均50%以上(利用時間数/利用可能時間数) ※体育室・武道場を対象	体育室:81.3% 武道場:21.9%(剣道場46.3%、柔道場19.3%、相撲場0.1%) 合 計:51.6%	B	
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には3営業日以内に回答	さわやか施設提案6件 お客様とのコミュニケーションが良好 苦情・要望には迅速に対応している	B	
	サービス満足度	・指定管理に関する利用者アンケートで「満足」が65%以上	満足度全6項目のアンケート結果 :「満足以上」平均83%	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 10,194人以上	10,459人(R6年度10,194人、前年度比102.6%)	B	
財 務	使用料収入の達成	・年間使用料収入(免除料金除く)12,236千円以上(但し、大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	11,729,498円(R6年度10,400,414円、前年度比112.8%)	B	使用料免除について考慮し評価
	管理運営経費の削減	・管理経費を抑える取組の実施件数5件以上	①シフトの効率化を図り超勤削減 ②スライド勤務により人件費削減 ③スタッフができる修繕はできるだけスタッフが行う ④常に省エネを心がけ無駄な電気をつけない ⑤水道メーターを毎日チェックし漏水予防 ⑥除雪をできるだけスタッフで行い除雪費を節約 ⑦ステージ、会議室等の電球をLED化し、年間35万円減	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
業 務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年7回以上実施	①4/12、10/18黒埼ふれ協会議出席 ②5/31海ごみゼロフェスティバル ③6/14立仏あそぼうさいAED指導 ④6/24.25職場体験(白根北中) ⑤7/17水泳授業指導【着衣泳】(曾根小) ⑥7/22水泳授業指導【着衣泳】(万代長嶺小) ⑦7/21海の日海岸一斉清掃 ⑧10/8職場体験(黒埼中) ⑨11/22西区ウォーク協力 ⑩12/13大野ふれ協フロアカーリング大会運営 ⑪1/1黒埼元旦マラソン協力 ⑫2/22ミニバス講習会指導(新潟市児童センター)	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	改善勧告等の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	迅速に対応している	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修 年1回以上実施	ハラスメント研修 メンタルヘルス研修	B	
	安全確保体制の確立	・防災訓練 年2回以上実施 (消防訓練・救命救急訓練など)	消防訓練①6/2と②11/10の2回実施 救命救急訓練①5/12と②11/10の2回実施 6/16全市一斉地震対応訓練	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	5/12、11/10普通救命講習受講・資格取得済	B	
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年8回以上実施	①5/12、11/10普通救命講習 ②5/26不当要求防止責任者講習会 ③6/23ハラスメント研修 ④6/27メンタルヘルス研修 ⑤6/17県スポーツ施設協会研修会 ⑥7/3.4JPPC研修会 ⑦9/25階層別研修【新任主幹】 ⑧12/17、2/4応急手当普及員再講習	B	
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	遵守している	B	

【評価基準】

- A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。
 C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

使用料改定があったが、専用利用件数は前年度比100.6%とほぼ横ばい、個人利用者数は前年度比106.3%と増えた。使用料は前年度比112.8%と増えたが、指標を達成できなかった。
今年度は、ステージや会議室の蛍光灯照明をLED照明に取り替える工事を行い、明るくなったとお客様から大変喜ばれている。また電気代の節約にもなり管理経費の縮減にもつながっている。
お客様からの要望・苦情が、直接スタッフに届くことで、改善できることは迅速に対応することで大きな苦情は寄せられなかった。今後もお客様、スタッフ間の良好なコミュニケーションを保つよう心掛けたい。
また引き続き、安心安全に配慮し、利用者満足度の高い施設運営を行い、各種大会の開催やスポーツ教室事業を中心に施設の利用促進を図っていきたい。

所管課による総合評価（所見）

使用料改定という利用者負担が増す局面にありながら、専用利用件数を前年度比100.6%と維持し、個人利用者数を同106.3%へ伸ばした点は、利用促進の努力が着実に成果へ結びついたものとして評価できる。使用料も同112.8%と増収を実現しており、指標の達成には至らなかったものの、堅実な運営姿勢がうかがえる。
設備面では、ステージや会議室のLED照明化を計画的に進め、利用者から好評を得るとともに管理経費の縮減にもつなげた点を高く評価する。利用者満足と経費節減を両立させた取組は、施設運営の模範となるものである。
さらに、利用者の要望・苦情がスタッフに直接届く体制を活かし、迅速な改善対応によって大きな苦情の発生を防いだ点は、日頃の丁寧な顧客対応の表れとして評価に値する。次年度以降も、良好なコミュニケーションと安心・安全への配慮を軸に、各種大会やスポーツ教室事業を通じた一層の利用促進を期待する。